

ブレーカ
(油圧ブレーカユニット、空圧ブレーカユニット)

証明書
発行日 H30年10月20日 様式SR-EB-01-E
証明書
発行No. 10-202 標章
No. 1099007

3 年 間 保 存

特定自主検査記録表

- ① 装着する機械（ベースマシン）の記録表は、様式SR-EHC等を使用すること。
② 検査済機械（ベースマシン）に装着して検査をする場合は、その情報を記入すること。

メーカー名	東空	管理 No.	YC-069	(検査済装着機械) メーカー名	7ホウ	使用者住所 氏名又は名称	中城村字久場1991番地 町田機工株式会社				
型式	TNB5M	型式	U40-6	機械管理者氏名	町田宗才	検査業者登録No.	第 1 7 号				
製造 番号	10592	製造 番号	15048	検査業者又は事業者 住所・名称 責任者名	沖縄市登川3458番地 マチダテクノ(株) 又吉 悟	責任者					
性能	300	kg	検査 年月	H30年10月	検査実施場所	田子田機工(株) 八重山営業所	検査 年月日	H30年10月20日	検査者 氏名	辺野重 義	

区分	No.	検査箇所	検査内容	検査方法	検査結果 良不良	補修 内容	区分	No.	検査箇所	検査内容	検査方法	検査結果 良不良	補修 内容
ブレーカ本体	1	ブレーカ上	封入ガス圧力、 ガス漏れ 接続部緩み（空圧式）、 取付	目視 石けん水 圧力計	✓		ブラケット等	11	ブラケット	亀裂、変形、摩耗	目視	✓	
	2	シリンダー	油漏れ、ピン穴き裂、 ブラケットはめ合い部摩耗、 取付	目視	✓			12	取付けピン、 プシュ	亀裂、変形、摩耗、 ピンシール損傷、取付	目視	✓	
	3	ブレーカ下	亀裂、損傷、摩耗、取付、 チゼルしゅう動部プシュ摩耗、 油漏れ、給脂	目視 スケール	✓			13	緩衝材	亀裂、摩耗、劣化、取付	目視	✓	
	4	アキュムレーター	打撃の異常、 ホース振れ、 むら打ち、異音、 油漏れ	目視 操作 聴診	✓		油圧装置	14	フィルター エレメント、 ケース	*汚れ・目詰まり・損傷、 油汚れ、取付	目視	—	—
	5	チゼル保持ピン	亀裂、変形、摩耗	目視 スケール	✓			15	配管（ホース 類、高圧パイプ）	亀裂、損傷、老化、ひび割れ、 むだれ、油漏れ、取付	目視	✓	
	6	チゼル保持ピン 用抜止めピン	亀裂、変形、摩耗	目視 スケール	✓			16	リリーフバルブ	作動、油漏れ、取付	目視 操作	—	—
	7	チゼル	亀裂、変形、摩耗	目視	✓			17	アキュムレーター	打撃の異常（ホース振れ、むら 打ち、異音）、*ガス封入圧	目視 聴診 圧力計	—	—
空圧装置（空圧式）	8	エアホース	損傷、ひび割れ、劣化、 緩み、エア漏れ、クランプ	目視 聴診	—	—	表示	18	表示板	損傷、取付	目視	✓	
	9	操作弁 ラインオイル	作動、油量、汚れ	目視 操作	—	—	操作	19	操作レバー等	ストローク、がた	目視 操作	—	—
	10						安全 車体	20	飛来物 防護設備	亀裂、変形、腐食、取付	目視 探傷器	—	—
								21					
							総合	22	総合テスト	作動、異常振動、異音、 異常発熱	目視 操作 聴診 触診	✓	

事業者等 への要請	次回特定自主検査実施年月	H31年 10 月
	使用前にクレスUPを行って下さい。	

補修等の措置内容			
照合No.	補修箇所及び不具合状況	補修年月日	補修実施内容

備考	1. 検査の結果、異常のないものは、検査結果欄の良に、又異常なものは不良の欄に「✓」印の記号を記載する。 2. 検査結果が異常なものについては、検査内容、検査方法欄の該当項目を○で囲む。 3. 検査内容の項目に*印が付けられた項目は、関連機能が正常であれば検査を省略できる。省略した場合は*印を○で囲む。 4. 検査の結果、補修等を行った場合は、補修内容欄に右の記号に従って記載する。又補修内容等の詳細説明を要するものについては、補修等の措置内容欄に記載する。	記 号	交換 ×	分解 交換 ⊗	修理 △	調整 A	締付 T	清掃 C	給油 L	該当 なし —
----	---	--------	---------	---------------	---------	---------	---------	---------	---------	---------------

油圧ショベル(クローラ式)

特定自主検査記録表

証明書
発行日

H30年10月20日

様式SR-EHC-01-D

建設業に係る特定特殊自動車排出ガスの排出
の抑制を図るための指針に基づく検査共用証明書
発行No.

10-202

標準
No.

1099009

3 年 間 保 存

メーカー名	7ホ-9		管理 No.	D4-519		使用者住所 氏名又は名称	中城村字久場1991番地 町田機工株式会社	
型式	U40-6		走行 距離	— km		機械管理者氏名	町田 宗才	
製造 番号	15048		稼働 時間	1056 h		検査業者登録番号	第 1 7 号	
性能	0.13 m³		車検 有効期間	—		検査業者又は事業者 住所・名称	沖縄市登川3458番地 マチダテクノ(株)	
検査 実施場所	町田機工(株)八重山営業所		検査者 氏名	江野豊 英成		責任者名	又吉 悟	
検査 年月日	H30年10月20日		責任者 					

区分	No.	検査箇所	検査内容	検査方法	検査結果	補修 内容		
					良	不良		
エンジン	1	本体	★ a 始動性 ☒ かり具合、 ☒ 異音、 ☒ 予熱栓・ ☒ ヒーターの作動 ★ b 回転の状態 ☒ アクセルの作動、 ☒ 回転具合 アイドリング回転 (1100 min ⁻¹)、無負荷最高回転 (2250 min ⁻¹) ★ c 排気の状態 ☒ 排気色、 ☒ 排気音、 ☒ 排気管・マフラー等のガス漏れ ★ d エアクリナー ☒ ケースの亀裂・変形・緩み、エレメントの汚れ・損傷、油量 ★ e 締付け ☒ シリンダーヘッド、マニホールド締付けボルト・ナットの緩み ★ f 弁すき間 ☒ 弁すき間(吸最大 mm・最小 mm)(排最大 mm・最小 mm) ★ g 圧縮圧力 ☒ 圧縮圧力 (MPa) 1 2 3 4 5 6 ★ h 噴射圧力 ☒ 噴射圧力 (MPa) 1 2 3 4 5 6 ★ i 噴霧状態 ☒ 噴霧状態 良○・不良× ★ j 過給器 ☒ 異常振動、異音、ガス漏れ、潤滑油漏れ ★ k エンジンマウント ☒ ブラケットの亀裂・変形・緩み・脱落、防振ゴムの損傷・劣化	目視、操作、聴診 目視、操作、聴診 回転計 目視、聴診 トルクレンチ シックネスゲージ 圧縮圧力計 ノズルテスター 目視、ノズルテスター 目視、聴診 目視、レンチ等	☒ ☒ ☒ ☒ ☒ ☒ ☒ ☒ ☒ ☒ ☒ ☒	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	
	2	潤滑装置	★ 油量、汚れ、油漏れ、*エレメントの汚れ・損傷	目視	☒	☐	☐	
	3	燃料装置	★ 燃料漏れ、ホースの損傷・老化、*エレメントの汚れ・目詰まり	目視	☒	☐	☐	
	4	冷却装置	★ 水量、汚れ、水漏れ、目詰まり、ホース損傷・老化、ラジエーターキャップ機能・損傷、ベルト(緩み・摩耗、損傷)、ファン・カバー・ダクト等の亀裂・損傷・変形・取付	目視、触診、スケール	☒	☐	A	
	5	電気装置	★ 充電装置機能、バッテリー液量・端子緩み・腐食、配線緩み・損傷	目視、触診、電流電圧計	☒	☐	☐	
	6	エアコンプレッサー	★ 異音、異常振動、エア漏れ、油漏れ、タンク内凝水、作動	目視、操作、聴診、圧力計	☐	☐	☐	
	7				☐	☐	☐	
	走行装置	8	起動輪、遊動輪	★ 亀裂・変形・摩耗、異音、異常発熱、取付、油漏れ	目視、聴診、触診、探傷器	☒	☐	☐
		9	上部ローラー、下部ローラー	★ 亀裂・変形・摩耗、異音、異常発熱、取付、油漏れ	目視、スケール、探傷器	☒	☐	☐
		10	履帯	★ 履帯亀裂・変形・摩耗、取付、リンク・ピン・ブッシュ・ピン・ブッシュの亀裂・摩耗、ピン長、たわみ、ピン抜け、ゴムパット(欠け・老化・摩耗)	目視、スケール、探傷器	☒	☐	☐
		11	ゴム履帯	★ スチールコード切断・損傷、ゴム(欠け・老化・摩耗)、心金脱落、たわみ	目視、スケール	☐	☐	☐
		12	履帯調整装置	★ 作動、調整ボルト等の亀裂・変形・腐食・摩耗、シリンダー油漏れ	目視、操作、探傷器	☒	☐	☐
		13	走行減速機	★ 異音、異常発熱、ケース亀裂・損傷、取付、油量、汚れ、油漏れ	目視、聴診、触診	☒	☐	☐
14					☐	☐	☐	
制動	15	駐車ブレーキ	★ 効き	目視、操作	☒	☐	☐	
	16				☐	☐	☐	
作業装置	17	ブーム、アーム、バケット、リンク	★ 亀裂・変形・摩耗、がた、取付、ピンシール損傷	目視、操作、ギス、探傷器	☒	☐	☐	
	18	ツース	★ 脱落、がた、摩耗	目視、触診	☒	☐	☐	
	19	ブレード	★ 亀裂・変形・摩耗、がた、取付	目視、操作、探傷器	☒	☐	☐	
	20	フック	★ 変形・摩耗、亀裂、外れ止め機能・損傷	目視、操作、ギス	☒	☐	☐	
	21				☐	☐	☐	
油圧装置	22	作動油タンク	★ 油量・汚れ、油漏れ、エア漏れ、ブリーザ目詰まり、取付	目視、石けん水	☒	☐	☐	
	23	フィルター	★ 汚れ・目詰まり、油漏れ	目視	☒	☐	☐	
	24	配管(ホース類、高圧パイプ)	★ 亀裂・損傷、老化、ひび割れ、ねじれ、油漏れ、取付	目視	☒	☐	☐	
	25	油圧ポンプ	★ 油漏れ、異常振動、異音、異常発熱、*負荷時吐出量・吐出圧	目視、聴診、触診、	☒	☐	☐	
	26	油圧モーター	★ 油漏れ、異常振動、異音、異常発熱	旋回用 冷却用 走行用	☒	☐	☐	
	27	油圧シリンダー	★ 作動、油漏れ、伸縮量、打痕、亀裂、曲がり、擦り傷	ブーム用 ブレード用 アーム用 スイング用 バケット用 オフセット用	目視、操作、スケール、 イマー	☒	☐	☐
						☒	☐	☐

3 年 間 保 存

D4-519

区分	No.	検査箇所	検査内容	検査方法	検査結果		補修内容	
					良	不良		
油圧装置	28	コントロール弁 (方向、圧力、流量、逆止め、電磁弁)	✓作動、油漏れ、✓取付、異音、✓異常発熱	✓目視、✓操作、✓聴診、✓触診	✓			
	29	回転継手	✓回転状態、油漏れ、異音		✓			
	30	オイルクーラー	✓冷却効果、✓目詰まり、✓変形、✓損傷、油漏れ モーターの異常振動・異音・異常発熱	✓目視、✓聴診、✓触診	✓			
	31							
操作	32	操作レバー	✓ストローク、✓がた	✓目視、✓操作、✓スケール	✓			
	33							
安全装置・車体関係等	34	下部架台フレーム、ブラケット	✓亀裂、✓変形、✓しゅう動部摩耗、✓取付	✓目視、✓スケール、✓探傷器	✓			
	35	旋回フレーム、ブラケット	✓亀裂、✓変形、✓取付	✓目視	✓			
	36	旋回ベアリング、旋回ギヤ	✓引っ掛かり、異音、*ギヤ亀裂・摩耗、✓取付、✓ギヤール損傷	✓目視、✓操作、✓聴診、 ✓メルクレンチ	✓			
	37	旋回減速機	✓異音、✓異常発熱、✓油量、✓汚れ、✓油漏れ、✓取付	✓目視、✓操作、✓聴診、✓触診	✓			
	38	旋回ロック	✓効き、✓亀裂、✓損傷、✓油漏れ、✓ボース損傷・✓老化		✓			
	39	レバーロック、ペダルロック	✓効き、✓損傷、✓変形	✓目視、✓操作	✓			
	40	キャブ、カバー	✓亀裂、✓変形、✓腐食、✓雨漏り、✓ドア等開閉、✓ロック・ギア作動、 ガラスのがた・損傷		✓			
	41	カウンターウエイト	✓取付	✓目視、✓スケール	✓			
	42	座席(調整機構、シート、シートベルト)	✓作動、✓損傷、✓取付	✓目視、✓操作	✓			
	43	昇降設備、滑り止め	✓亀裂、✓損傷、✓変形、✓取付	✓目視	✓			
	44	表示板	✓損傷、✓取付		✓			
	45	灯火装置、警音器、方向指示器、 窓拭き器、デフロスター等	✓作動、✓取付、✓レンズ損傷、✓浸水	✓目視、✓操作	✓			
	46	計器類	✓作動	✓目視	✓			
	47	後写鏡、反射鏡、カメラ	✓汚れ、✓損傷、✓写影		✓			
	48	給油脂	✓給油脂状態、✓自動給油脂装置作動	✓目視、✓操作	✓			
49								
総合	50	総合テスト	✓作動、✓異常振動、✓異音、✓異常発熱	✓操作、✓聴診、✓触診	✓			
排ガス装置	★	一酸化炭素等発散防止装置	✓触媒等の緩み、✓損傷、✓排気温度警告装置の配線緩み・損傷、排ガス 減少装置のホース・パイプの緩み、損傷	✓目視、✓聴診、✓ピンチ等	✓			
事業者等への 要請	次回特定自主検査実施年月 131年 10月 使用前に保安点検を行ってください							
補修等の措置内容								
照合No.	補修箇所及び不具合状況		補修年月日	補修実施内容				
1	エアリーサーエレメントの汚れ		130年10月20	エアリーサーエレメントの清掃				
4	ファンベルトのたわみ		1	ファンベルトの調整				
備考	1. 検査の結果、異常のないものは、検査結果欄の良に、また異常なものは不良の欄に「✓」印の記号を記載する。 2. 検査結果が異常なものについては、検査内容、検査方法欄の該当項目を○で囲む。 3. 検査内容に*印が付けられた項目は、関連機能が正常であれば検査を省略できる。省略した場合は*印を○で囲む。 4. 検査の結果、補修等を行った場合は、補修内容欄に右の記号に従って記載する。また補修内容等の詳細説明を要するものについては、補修等の措置内容欄に記載する。 5. ★印は「安衛法」と「建設業に係る特定特殊自動車排出ガスの抑制を図るための指針」との共通検査項目であり、★★印は同指針のみの検査項目である。							
	記号	交換	分解交換	修理	調整	締付	清掃	給油水
	×	⊗	△	A	T	C	L	—